まっています。英語は、高校や大学も重要視されているので、いち早く英語に触れ、七尾市から羽ばたく国際人になってほしいと思います。

保育園、学校施設の整備充実

子どもたちが利用する保育園や学校施設の整備も必要です。この整備は、災害などのときに子どもたちの安全を確保するためのものです。七尾市には、耐震化されていない施設がありますので、一日でも早く整備ができるように取り組みたいと思います。

また、少子化問題や耐震化問題にもつながりますが、中学校の統廃合も進めていかなければなりません。田鶴浜中学校と中島中学校の統廃合や、御祓中学校と朝日中学校の統廃合の予定があります。地域住民の方々にご理解をいただきながら、進めていかなければなりません。子どもたちの安心安全な施設確保と、充実した教育環境の整備が必要です。保護者や地域の方々に相談しながら、推進していきたいと思います。

（仮称）里山里海自然館の開設

山王小学校に少年科学館があります。そこには、極めて重要な資料がたくさんあります。「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されたことを踏まえ、重要な資料などに光を当て、全国発信できるような施設整備が必要です。重要な資料ばかりですので、市民の皆さんにはもちろんのこと、七尾市を訪れる皆さんにも見ていただけるような施設にしたいと思います。

Manifesto VI

効率的で質の高い行政を目指します

市民の皆さんからの要望やニーズは多様化しています。行政は、それに応えなければなりません。応えるためには、現場での対応や解決を目指した「現場力」や、市民からの要望や問い合わせに即対応する「即応力」、また、市民からの問い合わせなどに、ある程度は一人で対応できる「総合力」、これら三つの能力を兼ね備えた職員で組織する市役所でなければなりません。強い組織力を作り上げるために、職員に対する意識改革を実施していきます。

行財政改革や職員数の適正化は、以前から進めてきましたが、この内容は、止めることなく続けていかなければなりません。事務事業の見直しや予算編成を通して、事業の検証をし、効率的な財政運営に努めていかなければなりません。これは、市政運営の基本となります。

また、来年度、七尾鹿島広域圏事務組合が七尾市になります。防災や環境、危機管理などを重点に、組織編成を考えなければなりません。平成25年度の組織がどうあるべきかを、これまでの広域圏の在り方を検証し、進めていきたいと思います。

これからの七尾市は？

市民の皆さんが、「ふるさと七尾は一番」と想っていただけるような七尾市にしたいと思います。七尾市総合計画の将来像として「人が輝く交流体感都市」と掲げています。これは、外部からの誘客も大事ですが、この地域に住んでいる人たちに幸せを感じていただくことがもっとも重要なことだと思います。

9月1日から施行された最高規範である「七尾市まちづくり基本条例」に基づく市民が主役のまちづくりを、地域に定着していただけるように取り組んでいきます。

自分で出来ることは自分で、地域で出来ることは地域でという自助共助の精神を根づかせたいと思います。

好きな言葉に「うばい合えば　足らぬ　わけ合えば　あまる」という言葉があります。これが基本だと思います。七尾市の財政には限りがあります。皆さんには、そんな思いを持っていただき、協力していただければと思います。

もう一つの好きな言葉は「他人のものさし　自分のものさし　それぞれ寸法がちがうんだな」という言葉です。話し合いをするときには、相手を説き伏せるのではなく、しっかり相手の話を聞き、そして、説明をした上で納得していただくことが重要だと思います。まちづくりは話し合いから始まります。私も職員も、こういったスタンスで行動していきたいと思います。

少子高齢化や雇用経済情勢が厳しい状況です。これらを打開するために、この4年間は重要になってきます。北陸新幹線や能越自動車道の開通、能登有料道路の無料化など、これからの七尾市にとってどう活かし、経済効果や波及効果を生むのかが最大の課題であります。たくさんの人に来てもらい、産業を強くしていくことを中心に、しっかりと実施していきたいと思います。

市民の皆さん、子どもも大人も、いきいきと輝くような七尾市にしていきたいと思います。4年間よろしくお願いします。

街角インタビュー

Q. 不嶋市長に期待することをお聞かせください。

in『七尾市内』

宮本春江さん（惣菜製造販売）

竹田直秀さん（自営業）

河村清枝さん（主婦）

古川由美子さん（介護士）

堂濱博夫さん（会社員）

中田　彩さん（主婦）

不嶋豊和新市長のもと、不嶋市政がスタートした。

不嶋市長は、平成21年に策定された「七尾市総合計画」や「七尾市まちづくり基本条例」を基に、「市民が主役のまちづくり」「協働と参画のまちづくり」を推進していくと語った。ここからは、これまでに計画実施されてきた取り組みなどを成熟させ、施策の結果を必ず出すという覚悟が、読み取れるのではないだろうか。

市政のかじ取り役となった不嶋市長が構想する七尾市未来予想図を、市役所職員も実現に向け加速させる。そして、市民は自助共助の意識で、行政と協働でまちづくりを実施していく。この関係が成就されれば、素晴らしい七尾市未来予想図になるのでは。

市長談話室

市政への想いやアイデアをお聞かせください！

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど前向きなアイデアをお聞かせください。（個人・グループどちらでも可。１組30分以内）

●**12月25日(火)**　15：00 ～ 17：00　※申込〆切日12月18日(火)
会場：能登島市民センター １階　応接室

●**１月８日(火)**　15：00 ～ 17：00　※申込〆切日12月26日(水)
会場：七尾市役所　２階　202会議室

（公務のため中止になる場合があります）

問・申 広報広聴課　☎53-8423